

2022年度 優秀賞 (設計)

遠流の島で暮らす —島根県海士町における移住者定着のための建築提案—

波多 大成



内観パース
地域交流施設 (地域探究活動のための教室)

島の環境に魅力を感じた若い世代の移住が進み、人口増を実現した島根県隠岐郡の離島である海士町は、地方創生の成功例として全国的に注目されている。しかし、迎え入れる旧来の住民の大多数は、依然として傍観的ではないか。新規来島者は、本来の意味で十分に島の文化を享受できているのだろうか。自身の経験に基づく問題意識から、作者は改めて島の風土を見つめ直すとともに、近年の取組みに関する詳細な調査を行った。その上で、旧来の島民と新規来島者がともに暮らすための空間の提案として、神楽や民謡などの機会にみられる文化的交流と、海産物や農作物を授受するような日常的交流を可能とする2つの施設を設計した。(指導教員 森重幸子)



計画コンセプト 旧来の島民と新規来島者の交流



計画対象地 島根県隠岐郡海士町



二つの計画の位置関係 人の往来が多く、地域の伝統行事とも関連する敷地を選定



外観パース シェアハウス (みんなの屋根)